

教育委員会定例会議事録

令和7年4月15日 午後2時00分 開会

出席委員

教 育 長	大 江 孝 一
委 員	戸 莉 恵理子
委 員	佐 原 圭 子
委 員	山 田 清 志
委 員	池 田 洋 子

説明のための出席者

教育部長	高 橋 純 司
教育部次長	星 野 光 広
庶務課課長	杉 浦 忠 彦
庶務課主幹	石 黒 友 作
学校教育課主幹	齋 川 浩
生涯学習課長	渡 辺 寿 彦
スポーツ課長	二 村 崇
学校給食課長	吉 田 信
中央図書館主幹	渡 邊 里 恵

教育長が指定した事務局職員

主 事	山 崎 修
主 事	各 務 京 子

議事日程

- 第1 議席の決定
- 第2 議事録署名委員の指名
- 第3 その他報告 令和6年度教育委員会の組織目標に対する結果及び令和7年度の組織目標について

「大江教育長」 定刻になりましたので、ただ今から教育委員会を開会し、会議を開催します。議事に先立ちまして、4月1日付で新たに教育委員として池田委員が就任されましたので一言就任のご挨拶をいただきたいと思います。

(池田委員挨拶)

「大江教育長」 また、4月から事務局職員にも異動がありました。事務局職員については、定例会終了後にあいさつの時間を別に設けさせていただきますのでよろしく

お願いいたします。

「大江教育長」 それでは議事に入ります。始めに日程第1、「議席の決定」を行います。これは、教育委員会会議規則第5条の規定により、「委員の議席は、教育長が定める。」こととなっていますので、新年度第1回目である今回においてその議席を定めるものです。従いまして、ただ今お座りの配席を今年度の各委員の議席にしたいと思っております。よろしくお願いいたします。

「大江教育長」 次に日程第2、議事録署名委員の指名を行います。本日の議事録署名委員は、教育長において、戸苺・山田 両委員を指名いたします。よろしくお願いいたします。

「大江教育長」 続いて、日程第3、その他報告「令和6年度教育委員会の組織目標に対する結果及び令和7年度の組織目標について」を議題といたします。事務局から説明をお願いします。

「高橋教育部長」 その他報告「令和6年度教育委員会の組織目標に対する結果及び令和7年度の組織目標について」を資料に基づき説明。

「大江教育長」 このことについて、ご質疑がありましたらお願いします。

「戸苺委員」 新年度が始まったばかりですが、萩小学校の雰囲気はどうでしょうか。

「齋川学校教育課主幹」 本年度の4月から特認校制度が始まり、本人と保護者の希望を基に他学区からの転入生を受け入れていますが、現在のところ特に大きな問題や混乱もなく、児童も嫌がることなく萩小学校に適応していると聞いています。

「大江教育長」 入学式を見学させていただきました。新1年生の入場時には、5、6年生が新1年生と手をつないで入場しますが、他校から転校してきた5、6年生も同じように新1年生の子と手をつないでおり、自然と学校に溶け込んでいたように見えました。転校生については式の途中で名前の紹介があって、皆で拍手という場面もあり、とても暖かく素敵なスタートだったと思います。

「山田委員」 次年度の目標の中にも『小規模化が進む音羽地区の小中学校の今後について検討していく』とあります。萩小学校が特認制度を開始しましたが、実際のところ、今回の特認校制度で萩小学校や音羽地区の小中学校の問題は、どの程度解決できたのでしょうか。

「杉浦庶務課長」 音羽地区の小中学校の今後の在り方については、来月の教育委員会定例会の中で詳しく説明させていただく予定ですが、今回、小規模特認校を導入して14名の児童が入学しました。当初、複式編成学級になることが見込まれるのは令和8年度の予定でしたが、今回14名の児童が萩小学校に転入したことで、複式編成については一旦回避となりました。しかし、それはあくまで一時的なものであり、今後このままの人数で推移していくと、3年後の令和11年にまた複式編成になる見込みとなっています。それを回避するため、小規模特認校の児童を継続募集していく必

要があります。また、これは萩小学校だけではなく、長沢小学校や赤坂小学校を含めた音羽地区全体の問題であると認識しています。

現在、将来的な小中学校の在り方について検討しており、そちらにつきましては来月の定例会に説明予定です。よろしくお願いいたします。

「池田委員」 『スクールソーシャルワーカー』と『個別支援員』について教えてください。

「齋川学校教育課主幹」 『個別支援員』は、学級（クラス）に入り児童・生徒を支援するような、担任の先生を補助する支援員のことです。『スクールソーシャルワーカー』は市内に2名おり、不登校や家庭に問題がある児童・生徒や、保護者、先生達の話聞き、学校内の支援だけではなく、地区の関係機関や医療機関に繋げる支援も行っています。

「池田委員」 市内で2名ということですが、仕事内容が多岐に渡るため、その人数で市内全域をカバーするのはとても大変だと思いますが、増やす予定はありますか。

「高橋教育部長」 一昨年までは1名で、昨年度から2名体制になりました。また、スクールソーシャルワーカーは2名ですが、スクールカウンセラーとして県職員が14人、市のハートフル相談員が5人の20名弱で市内を巡回しています。

「山田委員」 コロナの影響で不登校児童生徒数が3倍に増えているが、文科省もはっきりとした要因がわからないと言っています。文科省がわからないから豊川市もわからないというのは仕方がないと思いますが、はっきりとした要因がわからないにしても、せめて教育委員会としての見解は持っているべきではないでしょうか。私の見解ですが、今は学力に偏りすぎて心身への負担が大きくなっているのではないかと、思います。例えばタブレット端末を使用した学習や教科担任制は、学力を高めることには効率的かもしれませんが、効率や成果を求めてすぎてドロップアウトしてしまう児童・生徒がいるのではないかと心配しています。それが不登校数の増加の一因かもしれません。「教科担任制」は先進的な取り組みだから積極的にやりましょうと進めていく前に、不登校数増加に対する反省や振り返りが必要ではないでしょうか。教育委員会や現場が、不登校数が増加したのはおそらくこういうことだろうという見解を持ち、それに対して対策を講じる必要があると思います。

「大江教育長」 不登校のことで学校教育課から意見はありますか。

「齋川学校教育課主幹」 これまでも不登校問題に対しての様々なアドバイスやご助言をいただきました。学校教育課としても、各学校からの報告について調査したり、学校訪問の際に担当指導主事から学校に対して指導助言を行う等の対策は行っていますが、ご指摘のように中々減少にはつながっていません。市でも学級支援員やスクールソーシャルワーカーの増員等の様々な施策を行っています。重要な課題だと認識しています。

「池田委員」 保護者の方から色々な意見を聞きます。中学校で不登校になったが、高校生になったら普通に登校できるようになった子もいれば、高校でもやはり不登校が続いてしまったという子もいます。支援級でも不登校の子もいます。何が原因かは

本当にわからないそうです。子どもに聞いても「なんとなく」と答えるそうです。はじめのようなこれといった原因があれば、それを解決すれば学校に行けるようになるかもしれませんが、そういうものではないから余計難しいのだと思います。

今は、学校以外の選択肢もあります。不登校数だけで見れば3倍かもしれませんが、その子たちが学校以外の選択肢を選んでいるのであれば、不登校数だけに注目するのではなく、学校以外での対応はこうなっているよというような対応数にも注目すべきではないでしょうか。現場の先生たちは頑張っていると思います。

「大江教育長」 貴重なご意見ありがとうございます。学校教育課の検討を要する事項の中にも、対応や支援の充実を課題に挙げています。どういう分析をし、何をしていくか、具体的な案を検討して欲しいと思います。他に何かありますか。

「佐原委員」 2026年にアジア競技大会が行われますが、豊川市が関係する事業等がありますか。

「二村スポーツ課長」 アジア競技大会については、名古屋市が中心となる予定です。豊川市に関しては、格闘技系の練習会場としてノミネートされていますので、そちらについては協会と一緒にやっていく予定です。協会も立ち上がったばかりで、おもてなし事業等、様々な打診はありますが、具体的な案はまだ何も示されていないので、今回の計画等については計上していません。

「山田委員」 戦後80周年事業は具体的にイメージしているものがありますか。

「渡辺生涯学習課長」 絵本の作成とイオンモール豊川での展示を予定しております。また、戦争の関係の切手の販売を郵便局にお願いしています。

「佐原委員」 GIGAスクールについて、国の推奨地域を満たさない学校の通信ネットワークの件は今年度に改善されますか。

「杉浦庶務課長」 昨年度にネットワーク調査を実施いたしました。調査結果を踏まえて、今年度補正予算で改修費用を計上予定ですので、今年度中には全て学校で文科省が定める基準はクリアできるものと思われま。

「大江教育長」 ほかに無ければ、その他報告「令和7年度教育委員会の組織目標に対する結果及び令和7年度の組織目標について」は、以上とさせていただきます。

「大江教育長」 本日の会議に付議されました案件は以上ですので、これで本委員会
は閉会といたします。

(午後3時32分 閉会)

この議事録は真正であることを認め、ここに署名する。

教 育 委 員

教 育 委 員